

まち育新聞

第12号

〈発行所〉
総務部まちづくりグループ
政策担当
美幌町字東2条北2丁目
Tel.73-1111

まちの5つの基本目標を漢字1文字で表現

「創・護・活・集・育」

町では、平成28年度から平成38年度までの11年間の計画期間とした、「第6期美幌町総合計画」を策定しました。

第6期美幌町総合計画の策定に当たっては、町民へのまちづくりアンケートや出前ヒアリングにより意見聴取を行ったほか、各種団体からの推薦と公募による町民40名で組織された「びほろ」みらいまちづくり会議により、全17回の議論を経て、素案を完成させました。その後、有識者による「美幌町総合計画審議会」への諮問・答申及び美幌町議会での議決を経て、平成28年3月8日に決定されました。

町民の皆さまと共に作り上げたこの計画は、美幌町の最上位計画であり、これからのまちづくりの将来像や目標を定め、その目標を実現するための方向性が記されています。

第6期美幌町総合計画策定



『びほろ』みらいまちづくり会議の様子

- 創** 人を創り、地域力を高めるまちづくり
- 護** 自然の美しさや暮らしの安心を、みんなで護りあうまちづくり
- 活** まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり
- 集** 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり
- 育** 夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり

まちの将来像

ひとがつながる、
みらいへつながる、
ここにしかないまち
びほろ



町で配布している非常用持出品

創

人を創り、地域力を高めるまちづくり

まちの基本目標

基本目標の1つ目「創」には、協働に関わることや、防災体制、地域の安全対策等8つの項目からなる計画が立てられました。その中から、「防災体制の強化」について説明いたします。

■防災体制の強化 ・現状と課題

今年8月に相次いだ台風により多くの被害が発生しましたが、災害は、いつ、どこで発生するか予測することが難しく、日頃から災害発生に備えておくことが必要です。大規模な災害が発生した際、被害を最小限におさえるには各家庭、自治会、事業所などの迅速な行動が必要です。また、自力で安全な場所に避難することが困難な方への配慮は、防災上最も重要な課題です。

・方針

「美幌町地域防災計画」に基づき、防災体制の整備を進めますが、計画については随時見直しや充実を図ります。また、災害に対する町民意識の高揚を促し、防災直後における被害や混乱を最小限にとどめるためには自助的活動が必要となることから、自治会連合会や各自治会を主体とした防災訓練、防災体制や防災資機材の整備、強化など住民が自ら災害に備える総合的な対策を進めます。

・主な施策と内容

備品の整備や訓練による防災意識の向上、体制の強化を図り、備蓄計画に基づく備蓄品の整備を充実します。また、総合災害訓練等を実施します。

護

自然の美しさや暮らしの安心を、みんなで護りあうまちづくり

基本目標の2つ目「護」には、高齢者及び障がい者の福祉に関わることや、子育て支援、環境保全等9つの項目からなる計画が立てられました。

その中の1つ「子育て支援の充実」には、5つの方針が示されています。

■子育て支援の充実 ・方針

- ①仕事と子育ての両立ができて、安心して子どもを預けられるよう保育園(所)における保育サービスの充実や保護者の負担軽減を図ります。
- ②子育て支援センターにおける相談体制の充実を図り、子育て情報の提供や子育てに関する相談・指導、託児ボランティアの養成に努めます。

活

まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり

基本目標の3つ目「活」には、雇用の拡大や安定、農業や林業の振興、商工業や観光の振興等8つの項目からなる計画が立てられました。

・主な施策と内容

子育て世代の負担軽減のため、医療費軽減について、国や道に要望するとともに、町においても財政状況を勘案しながら支援の拡大を図ります。

また、町では「入院」に係る医療費の助成対象を中学3年生まで拡大し、多子世帯の保育料軽減についても対象年齢を18歳未満まで拡大いたしました。

加えて近年、木育が注目されており、木とふれあえる環境づくりも必要です。

・方針

国際認証であるFSC®森林認証を活用し、林産業や林家の経営安定や付加価値向上に努めます。

また、町民による「森づくりの場・木とふれあう場」の充実に努めます。

森づくりや木とふれあう場づくりを進め、森林機能・資源循環の大切さなど、子供達が学べる場を増やします。

また、地産地消を推進するために、バイオマスポイラーやペレットストーブ等の普及を図り、木質を最大限に活用できるように推進します。



平成27年10月にオープンした美幌林業館「きてらす」

集

住みやすさ、人が集まる基盤づくり

基本目標の4つ目「集」には、道路網の整備や除排水体制の充実、公園や緑地及び上下水道の整備等7つの項目からなる計画が立てられています。現在行われている大正橋の補修工事に関係する「道路網の整備」について説明いたします。

■道路網の整備

町内には、国道4本、道道6本が複雑に交差し、町道も含めた道路網について再度検討を図り、整備・維持管理をすすめることが必要です。

・方針

国道・道道の機能性・利便性を高めるための要請や、町道の安心・安全な車両及び歩行者の通行を確保します。

・主な施策と内容

高規格幹線道路、地域高規格道路、一般国道の整備促進の要望を行うとともに、町道については、未整備路線の整備や老朽化路線の改修等地域要望を勘案しながら優先順位を決めて、整備を行います。



大正橋の補修工事の様子

育

夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり



ビホロ 100km デュアスロン大会の様子

基本目標の5つ目「育」には、幼稚園や学校教育、生涯教育に関する文化、芸術、文化及びスポーツの振興等5つの項目からなる計画が立てられています。

今年度は、美幌町出身の選手が世界的・全国的に活躍した嬉しい話題がたくさんありましたので、「スポーツの振興」について説明いたします。

■スポーツの振興

・現状と課題

運動する機会の減少に伴う子どもの体力低下や、既存スポーツ施設の老朽化、各団体の高齢化・会員の減少等が現状です。

また、合宿可能な競技施設や宿泊施設が限られているため、受入の増加に繋がらないのも課題です。

・方針

①体育関係団体と学校及び地域が連携・協力しながら、地域全体でリーダーや指導者等の人材育成に努めます。
②トップレベルで活躍できる人材を育成できるよう、地域特性に合わせた環境を整備します。
③スポーツ合宿等によるトップアスリートとの交

流を通じ、夢と希望を持つ環境を築くと共に、安全に活動できるよう、老朽化した施設の更新整備等を計画的に進めます。

・主な施策と内容

地元出身者などのアスリートによる指導を通じ、スポーツに対する意欲を高め、技術力の向上に繋がります。また、既存施設の維持及び改修については要望等を踏まえて行います。

美幌130年記念 ロンマークコンテストのお知らせ

明治20年から始まった美幌の歩みは、平成29年に130年の歴史を重ねます。

先人たちの開拓の苦労、発展への願い・喜びがこの美幌町の礎となり、この思いは親から子へ、そして孫へと受け継がれ、限りない未来へとつながっていきま

す。「これまで」のそして「これから」の美幌への思いを込めた作品をお待ちしております。

■応募内容

- ①「美幌」(ひらがな、カタカナ、ローマ字可)と「130」の文字を使用すること。
- ②A4サイズ(210mm×297mm)の枠内に収まる作品であること。
- ③自作・未発表で、第三者が所有・管理する著作権や商標等を侵害しないこと。
- ④カラー又は白黒の作品であること。

■応募部門

- ①一般の部 中学生以上
- ②子どもの部 小学生以下

■応募資格

- ①美幌町に住所を有する方
- ②町外から働きに来ている方、または学校に通っている方(年齢、性別、国籍は問いませんが、アマチュアの方に限りません)

■応募期間

平成28年11月30日まで ※応募方法や注意事項等の詳細はHPかパンフレットをご覧ください。

■表彰

- 最優秀賞 各部門1点
- スマップリーダー1万円分ポイントチャージ+副賞
- 佳作 各部門2点
- 特産品3千円分

○他 応募者の中から抽選で各部門10名ずつ(1千円相当金券)

■その他

・お一人何点でもご応募可能です。
・応募にあたり記載いただく個人情報、本コンテストの目的以外には使用いたしません。

たくさんの応募を待ってるぎゅー



事務局(提出先)
総務部まちづくりG
計画担当(窓口10)

びほろボランティア

の旅

今回は ボランティアグリーングループの活動をご紹介します



ひまわり保育園の園児たちにおもちゃ箱をプレゼント

昭和51年に発足以来40年を迎えたボランティアグリーングループ。発足のきっかけは、個人で盲導犬育成募金活動をしてきた方の意思を引き継ぐということ、結成しました。名称の由来は、盲導犬育成募金活動と併せて、美幌町特別養護老人ホームのボランティアをしており、その「みどり」から「グリーン」という名前が誕生しました。

楽しみながらのボランティア40周年

に使っている様子を見て、大変うれしく思っております。年に1回、会員研修と親睦を兼ねて、バス旅行をしておりますが、今年は大空町のドリーム苑、常呂遺跡の森、ワツカ原生花園を回って、研修と親睦を深め楽しんできました。

今年11名の方が入会しました。高齢化社会は益々進みます。高齢者になっても相応のボランティアの場はありますので、家の中に閉じこもらず仲間と一緒に活動を楽しみたいものです。

現在の活動は、緑の苑の施設ボランティア活動、盲導犬育成ボランティア活動、児童支援活動、会員研修と親睦が主な内容です。

緑の苑ボランティアは、主に布切りで、月2回施設内のボランティア部屋を使わせてもらっております。また、緑苑祭では、利用者さんと一緒に盆踊りを楽しんでおります。

盲導犬育成活動は、町内3カ所に募金箱を設置しております。また、ふれあい広場で募金を呼びかけたり、総会の折、会員に募金を募っております。

児童支援活動は、手作りおもちゃ箱や手袋人形、そして、牛乳パックで作ったおもちゃと用のテーブルや椅子等をプレゼントしました。今も大切に

会員のみんなで手袋人形を作りました



代表 田中 淑子
連絡先 73-4896